

関西大学通信

大阪府吹田市山手町3丁目
関西大学広報委員会

一般教育の改善について

教養部長 小方 厚彦

大学における一般教育は、いうまでもなく専門教育の単なる準備的・予備的な教育ではなく、特定の専門にかたよらない豊かな人間的教養を育成して、知識の調和をはかり、総合的かつ自主的な判断力と創造的精神を養うことを目ざすものであります。周知のとおり、学問の発達や社会の変遷に伴

て、専門分化が目まぐるしく進行し、また知識量が昔とは比較にならないほど急速に増大しつつある今日、専門家の一面性の弊に陥る傾向をしっかりと身につけて、広い視野と自由な思考力をもつことが何よりも大切です。この

ことから、専門教育の意義

充実改策について、鏡意検討が加えられてきました。たとえば、

年來、一般教育のあり方や、その

これまでに昭和四十三年、一般教育等

振興対策委員会が設けられ、学

長に「一般教育等の振興対策につ

れて、専門化が目まぐるしく進

ります。

後引き続いて、大学問題委員会、改革準備委員会、改革調査委員会などにおいて、大学改革の一環として、一般教育の問題が常に重

要な問題としてとり上げられ、精

力的に討議が重ねられました。

これらの討議の積み重ねのあと

を経て、昭和四十七年には今後

の具体的な実行案検討のために二

般教育等改策委員会が新たに設けられ、現状の分析や問題点の調査

・研究が続けられました。もちろん、一般教育の改策という重要な問題を処理するには、急務部の独自

企画は、まさに各学部教授会や関

係諸機関においても慎重に審議さ

れ、その結果、実行の可能なもの

だ、後述の「芸術史」および「部落解放論」については、上位

が、昭和四十九年度一年次生より

適用されるようになりました。た

だし、後述の「芸術史」および「部落解放論」については、上位

が、昭和四

